

公益社団法人 森林保全・管理技術研究所
平成 30 年度事業計画

1. 平成 30 年度事業計画

(公社)森林保全・管理技術研究所は、森林保全・管理技術に関する調査研究、技術開発、技術情報の集積・分析等を行い、森林保全・管理技術の構築及び普及啓発並びに森林技術者の技術の向上及び継続教育の支援等を推進し、もって国土の保全、森林・林業の発展、科学技術の向上に寄与することを目的として設立されたところである。

平成 30 年度は、森林保全・管理技術研究開発事業の後期五カ年計画の最終年度であることから、後期五カ年計画の成果及び本事業十カ年の成果の取りまとめを行うこととする。また、研究開発活動の終了した課題についてはその成果を報告書として印刷製本し、広く情報の提供、普及啓発に資することとする。

さらに、実施体制の整備を図るために、引き続き、賛助会員の募集、公益的な調査研究・技術指導の開拓等を進めることとする。

(1) 森林保全・管理技術に関する調査研究、技術開発

(1-1) 森林保全・管理技術研究開発事業

本年度は、後期五カ年計画に基づき、昨年度から継続する下記の事項を課題とする。

- ① 木材生産林における水土保持技術の確立
- ② 里山における森林整備のあり方
- ③ 非皆伐施業の現状と今後のあり方
- ④ 森林調査手法の現状と今後のあり方

なお、上記の課題のうち、①及び②については、本年 6 月で終了するため、今後の本研究所の調査研究活動のあり方を踏まえて、新たな課題を設けることとする。

(1-2) その他

- 木造住宅の効用等に関する調査研究

(2) 森林保全・管理技術に関する資料・文献の収集、整理保存及びその集積・分析

森林保全・管理技術デジタル・アーカイブのシステム開発・改良については、昨年度に引き続き検索機能の外部からの利用システムについて実用化を促進することとする。また、上記(1)の研究開発課題に関連する分野を中心にデータベース化を進めるとともに、資料・文献提供者の多角化を図ることとする。

(3) 森林保全・管理技術に関する情報提供、普及啓発

(1)の調査研究、技術開発の成果を取りまとめた報告書等を作成するとともに、(2)で集積・分析した資料・文献等も含めてこれらを活用した情報の提供、普及啓発を行う。

(4) 森林技術者の専門技術の向上及び継続教育に関する支援

森林・自然環境技術者教育会(JAFEE)の森林分野 CPD と連携して、森林技術者の専門技術の向上及び継続教育に資するため、(1)の研究開発課題の成果を活用しつつ、研修会、現地講習会等を開催する。

(5) 科学技術についての技術者、研究者及び教育者等との連携による調査研究及び提言活動

正会員、賛助会員の意向を踏まえて、社会的に関心が高く重要な課題について調査研究、提言活動を行う。

(6) 行政施策又は社会貢献に資する公益性・中立性の高い調査研究及び技術指導

森林調査、測量設計等、その成果の技術的妥当性が社会的に多大な影響がある事案について、中立的な立場で審査・保証等を必要とする場合には、研究所がこれに対応することが出来るよう体制の整備を図ることとする。

「国有林野測定事業における審査業務」については、実施体制の整備を図りつつ今後も継続していくこととする。